

2017年3月期第3四半期 決算説明資料

2017年2月8日

日本製紙株式会社



1. 2017年3月期 第3四半期 事業環境の概要

2. 2017年3月期 第3四半期 決算概要

3. 2017年3月期 業績見通し



1. 事業環境の概要 – 紙・板紙内需と輸出量

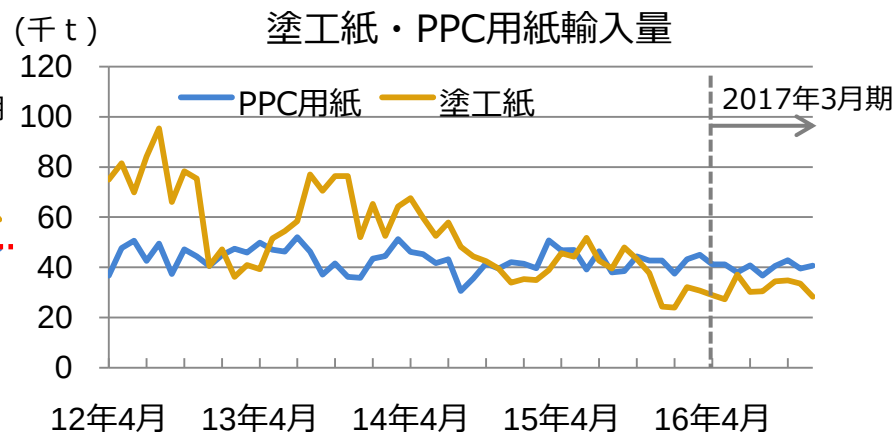
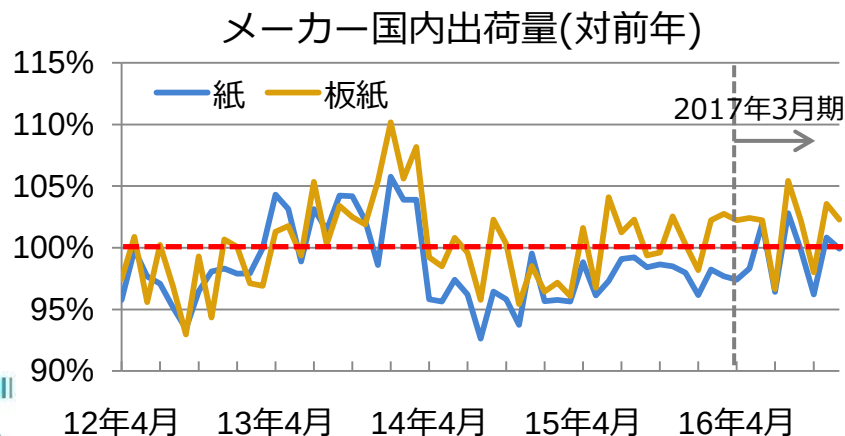
国内新聞用紙は低迷、板紙は堅調

(数量：千 t)

		2016年10月～12月 国内メーカー販売実績			
		国内		輸出	
		数量	前期比	数量	前期比
紙	新聞巻取紙	729	▲4.0%	0	—
	印刷・情報用紙	1,953	0.1%	159	5.8%
	塗工印刷用紙※	1,142	0.5%	118	▲1.9%
	非塗工／特殊印刷用紙	475	▲1.4%	30	47.7%
	情報用紙	336	1.4%	11	12.7%
	その他の紙 (包装・衛生・雑種紙等)	838	▲0.8%	69	19.8%
合計		3,520	▲1.0%	228	9.7%
板紙	段ボール原紙	2,366	1.4%	112	57.3%
	紙器用板紙他	569	0.5%	6	33.3%
	合計	2,935	1.2%	118	55.8%
紙・板紙合計		6,456	0.0%	346	22.0%

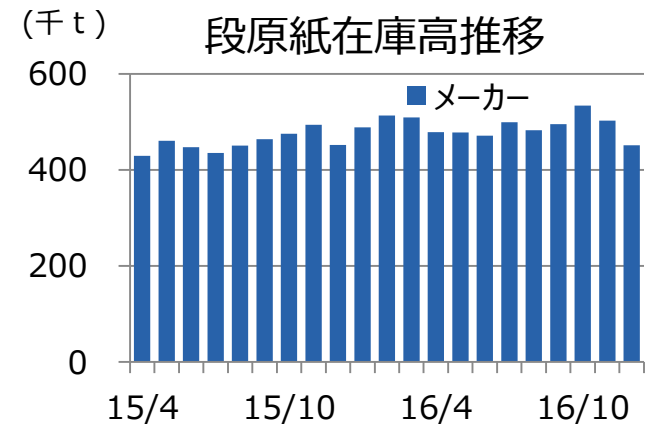
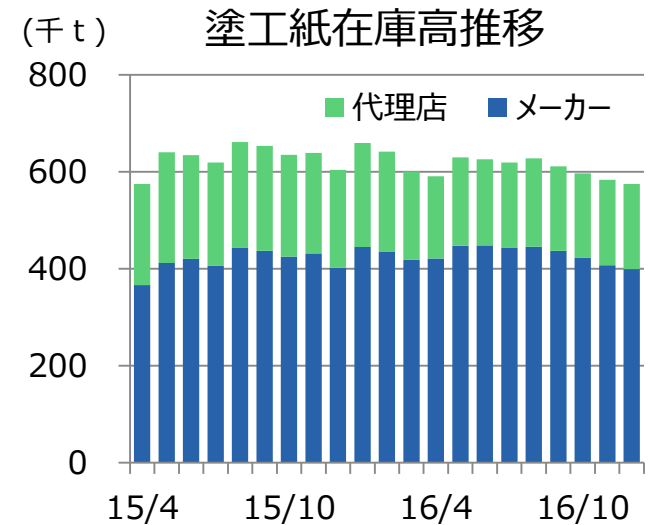
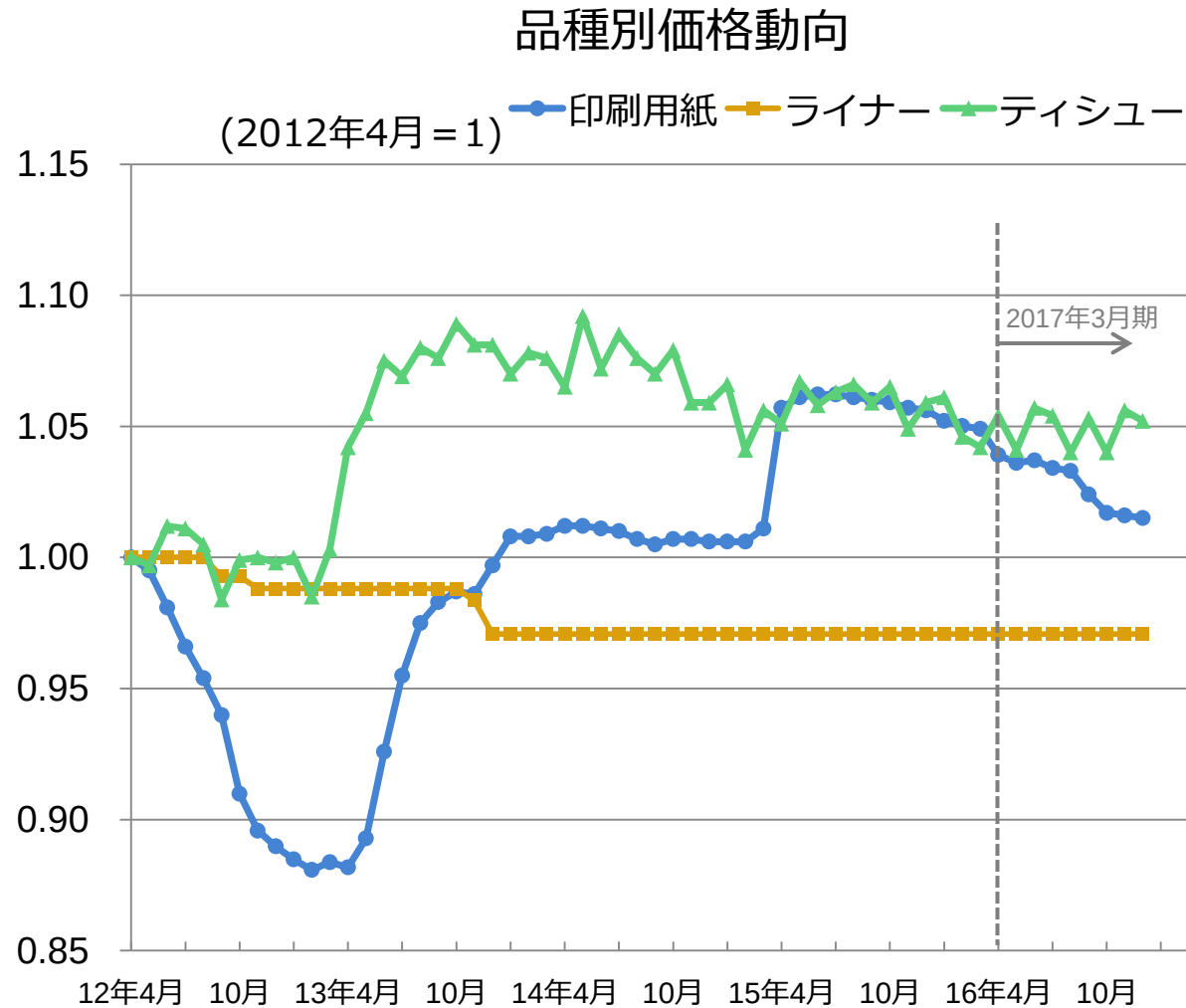
		2016年10月～12月	
		輸入	
		数量	前期比
		3	▲77.3%
		250	▲7.0%
		97	▲8.4%
		31	▲9.8%
		123	▲5.2%
		11	2.7%
合計		264	▲9.9%
		11	20.3%
		69	4.7%
合計		79	6.5%
		343	▲6.5%

※ 塗工印刷用紙には微塗工紙を含む



出所：日本製紙連合会

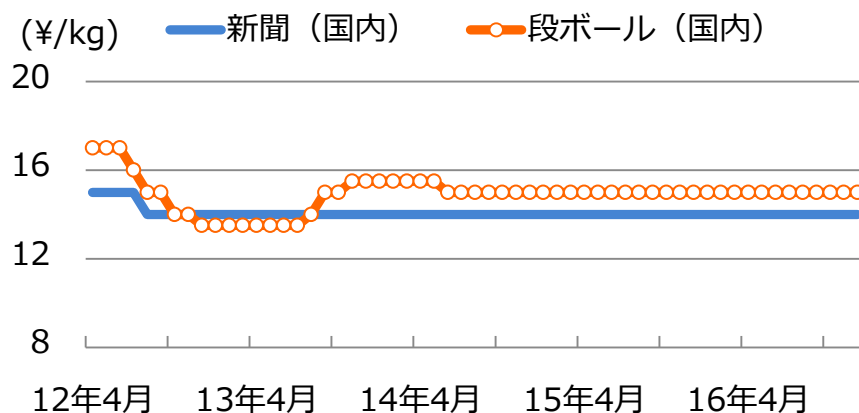
印刷用紙の市況価格は漸減傾向続く



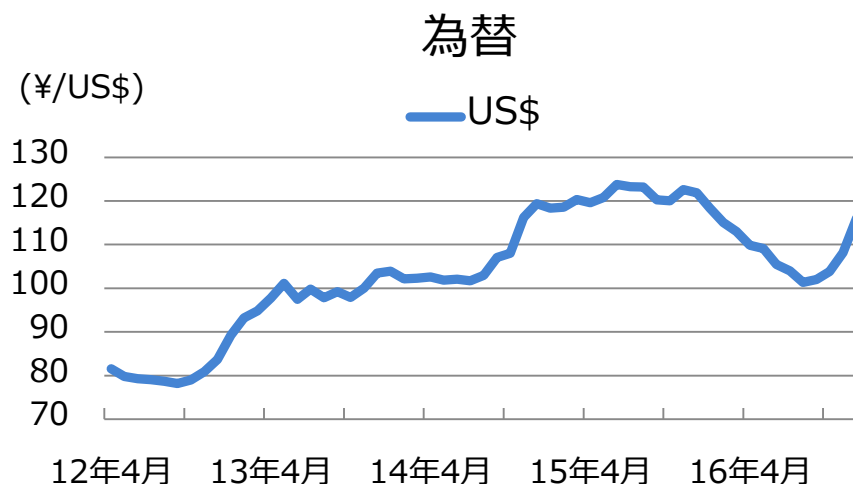
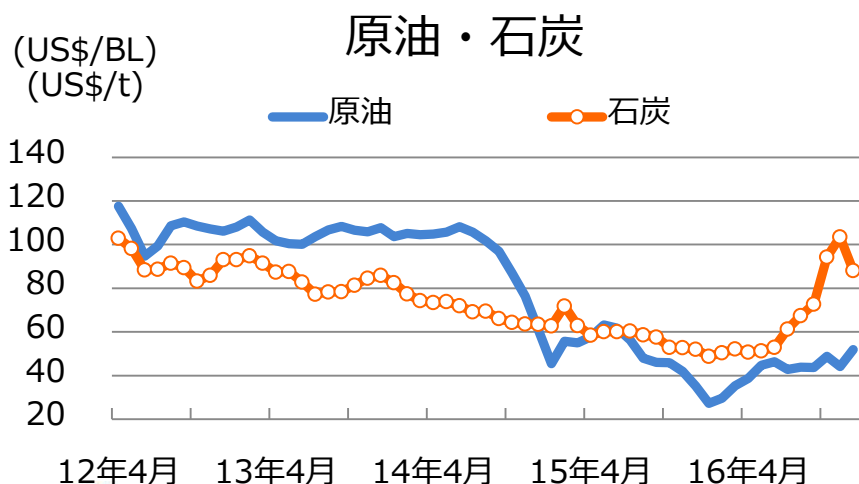
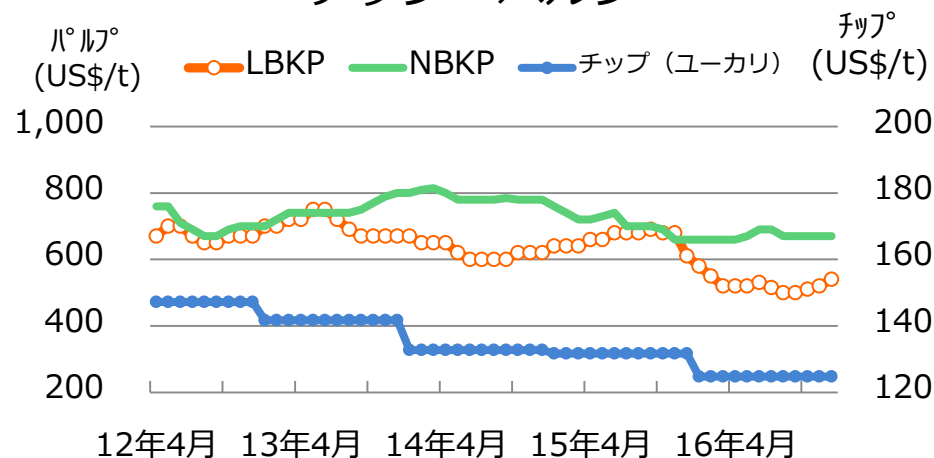
1. 事業環境の概要 – 主要原燃料価格動向

為替は円安へ反転、石炭価格は急騰

古紙



チップ・パルプ



売上高減、営業利益減。日本製紙USAの事業撤退損失を計上

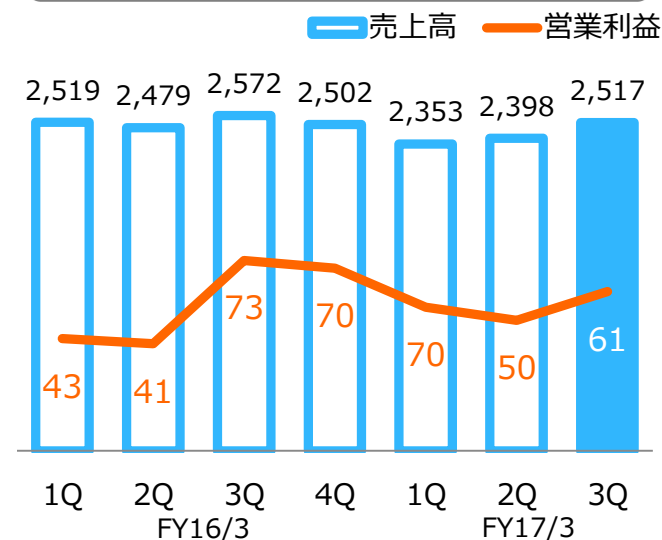
(単位:億円)

	2017年3月期 第3四半期実績	2016年3月期 第3四半期実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	2,517	2,572	▲55	▲2.1%
営業利益	61	73	▲12	▲16.4%
経常利益	81	59	22	37.3%
四半期純利益*	▲24	▲1	▲23	—

* 親会社株主に帰属する四半期純利益

- ◆石巻タービン更新工事による購入電力増に加え、操業安定化対策の効果発現に時間を要し、営業利益は前年を下回る
- ◆日本製紙USAの事業資産売却に関わる損失を特別損失に計上

売上高・営業利益の推移



紙パルプは減収減益、紙関連は増益

(単位:億円)

	売上高			営業利益		
	2016年3月期 第3四半期	2017年3月期 第3四半期	前年 同期比	2016年3月期 第3四半期	2017年3月期 第3四半期	前年 同期比
紙パルプ	2,143	2,096	▲47	49	28	▲21
紙関連	225	223	▲2	7	16	9
木材・建材・ 土木建設関連	155	148	▲7	10	11	1
その他	49	50	1	7	6	▲1
合計	2,572	2,517	▲55	73	61	▲12

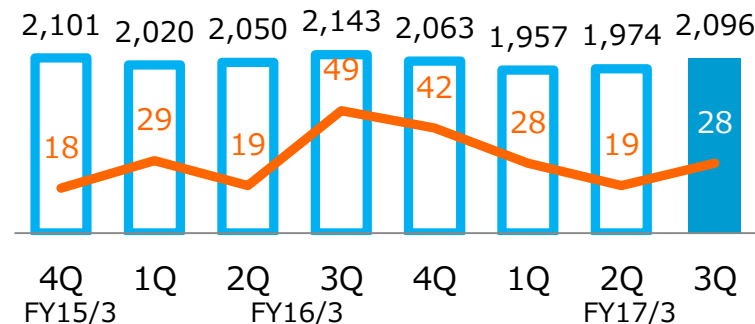


2. 決算概要 – 紙パルプ事業

洋紙 	出荷数量：▲0.6%（国内：▲2.6%、輸出：+23.3%） →石巻タービン更新工事による購入電力増に加え、操業安定化対策の効果発現に時間を要し、原価改善が未達。
板紙 	出荷数量：+5.6%（国内：+1.5%、輸出：+91.4%） →国内の段ボール原紙は業界の前年比を超える伸びを見せた。輸出は引き合い好調だが、円高の影響で価格は下落。
家庭紙 	ティッシュペーパー、トイレロール、ヘルスケア製品の需要が好調で、販売数量は前年を上回る。
その他 	電力事業は引き続き堅調。

売上高・営業利益の推移 (単位:億円)

■ 売上高 ■ 営業利益

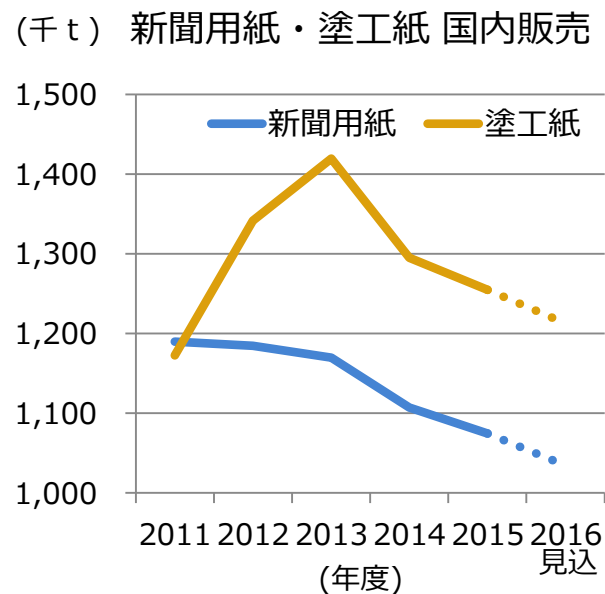
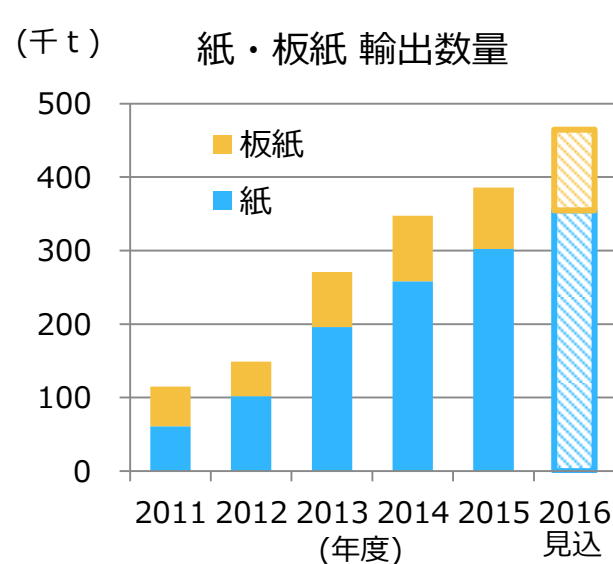


2. 決算概要 – 紙パルプ事業（洋紙・板紙販売数量）

洋紙国内販売は減少も、洋紙・板紙とも計画並みで推移

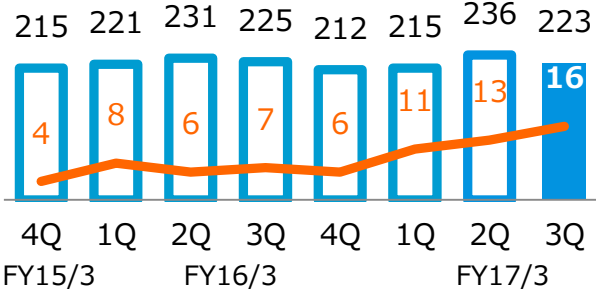
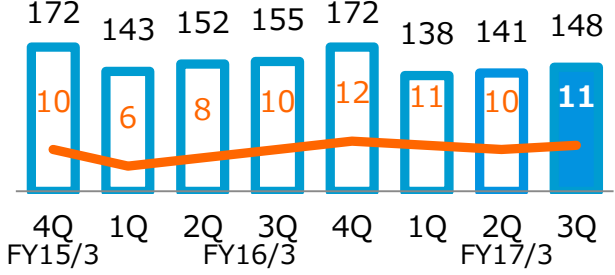
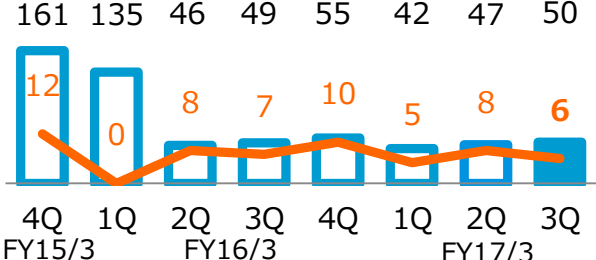
		(単位：千 t)		
		2016年3月期 第3四半期	2017年3月期 第3四半期	前年同期比
洋紙	新聞用紙	274	264	▲3.4%
	印刷・情報用紙	589	570	▲3.3%
	塗工紙	325	319	▲1.6%
	非塗工紙	129	121	▲5.8%
	情報用紙	136	129	▲5.0%
	包装・雑種紙他	83	87	4.9%
	国内	945	921	▲2.6%
輸出		77	95	23.3%
洋紙合計		1,022	1,016	▲0.6%
板紙	段ボール原紙	291	298	2.2%
	紙器用板紙他	94	93	▲0.7%
	国内	385	391	1.5%
	輸出	18	35	91.4%
板紙合計		403	426	5.6%
洋紙・板紙合計		1,426	1,442	1.1%

日本製紙、日本製紙パピリア、日本製紙クレシアの
販売数量合計（衛生用紙を除く）
（新東海製紙分は含まず）



2. 決算概要 – 紙関連事業、木材・建材・土木建設関連事業、その他事業

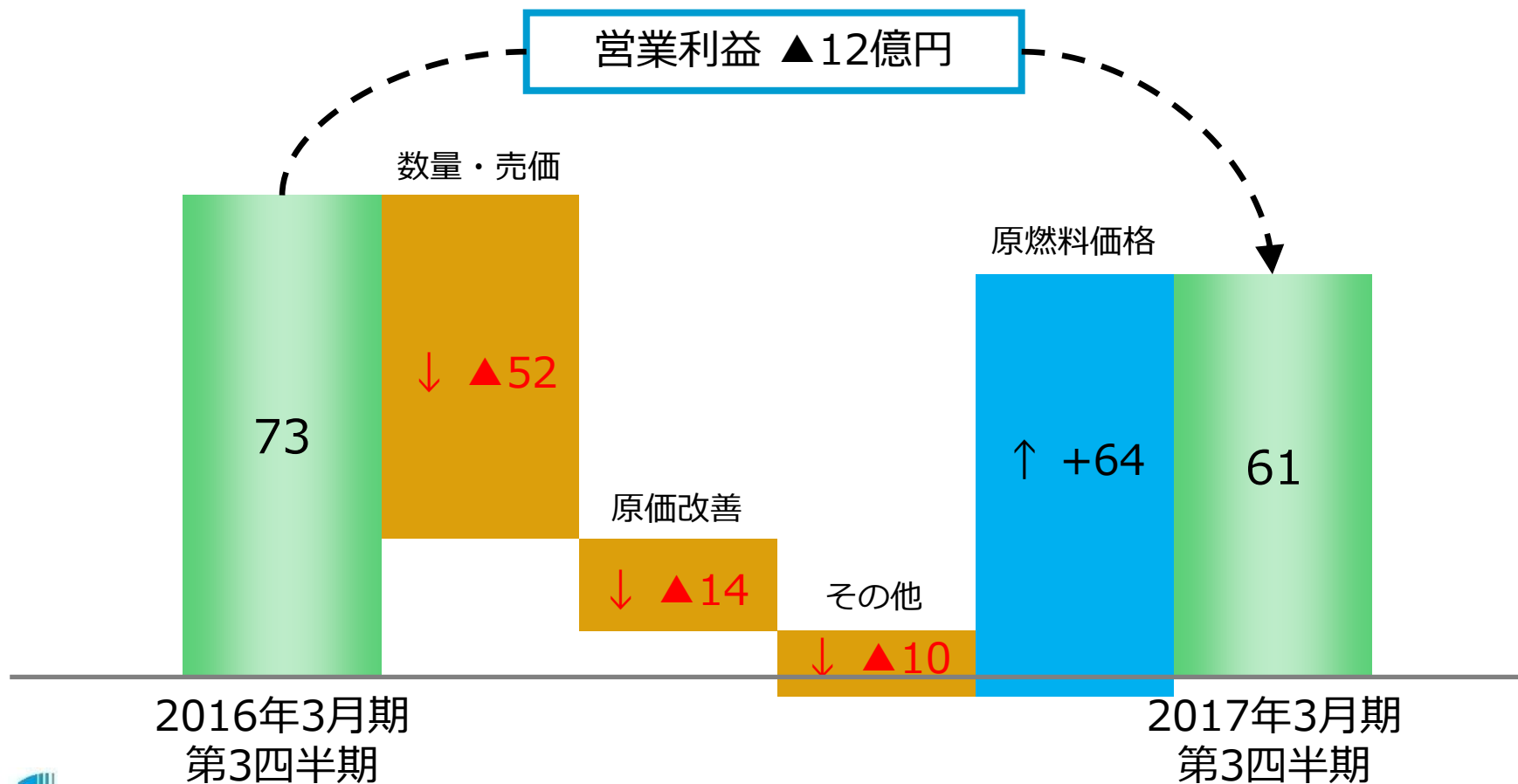
(単位:億円)

	事業概況	売上高・営業利益の推移 売上高 営業利益																											
紙関連事業 	- 紙パック事業は、果汁向け飲料が低調で販売数量は前年を下回ったものの、原材料安により減収増益。 - ケミカル事業は、D P・化成品の販売が堅調に推移し、増収増益。	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Quarter</th> <th>Sales (Sales High)</th> <th>Operating Profit</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>FY15/3 4Q</td><td>215</td><td>4</td></tr> <tr><td>FY16/3 1Q</td><td>221</td><td>8</td></tr> <tr><td>FY16/3 2Q</td><td>231</td><td>6</td></tr> <tr><td>FY16/3 3Q</td><td>225</td><td>7</td></tr> <tr><td>FY16/3 4Q</td><td>212</td><td>6</td></tr> <tr><td>FY17/3 1Q</td><td>215</td><td>11</td></tr> <tr><td>FY17/3 2Q</td><td>236</td><td>13</td></tr> <tr><td>FY17/3 3Q</td><td>223</td><td>16</td></tr> </tbody> </table>	Quarter	Sales (Sales High)	Operating Profit	FY15/3 4Q	215	4	FY16/3 1Q	221	8	FY16/3 2Q	231	6	FY16/3 3Q	225	7	FY16/3 4Q	212	6	FY17/3 1Q	215	11	FY17/3 2Q	236	13	FY17/3 3Q	223	16
Quarter	Sales (Sales High)	Operating Profit																											
FY15/3 4Q	215	4																											
FY16/3 1Q	221	8																											
FY16/3 2Q	231	6																											
FY16/3 3Q	225	7																											
FY16/3 4Q	212	6																											
FY17/3 1Q	215	11																											
FY17/3 2Q	236	13																											
FY17/3 3Q	223	16																											
木材・建材・土木建設関連事業 	- 新設住宅着工戸数は増加。 - いずれの事業とも前年並みで推移。	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Quarter</th> <th>Sales (Sales High)</th> <th>Operating Profit</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>FY15/3 4Q</td><td>172</td><td>10</td></tr> <tr><td>FY16/3 1Q</td><td>143</td><td>6</td></tr> <tr><td>FY16/3 2Q</td><td>152</td><td>8</td></tr> <tr><td>FY16/3 3Q</td><td>155</td><td>10</td></tr> <tr><td>FY16/3 4Q</td><td>172</td><td>12</td></tr> <tr><td>FY17/3 1Q</td><td>138</td><td>11</td></tr> <tr><td>FY17/3 2Q</td><td>141</td><td>10</td></tr> <tr><td>FY17/3 3Q</td><td>148</td><td>11</td></tr> </tbody> </table>	Quarter	Sales (Sales High)	Operating Profit	FY15/3 4Q	172	10	FY16/3 1Q	143	6	FY16/3 2Q	152	8	FY16/3 3Q	155	10	FY16/3 4Q	172	12	FY17/3 1Q	138	11	FY17/3 2Q	141	10	FY17/3 3Q	148	11
Quarter	Sales (Sales High)	Operating Profit																											
FY15/3 4Q	172	10																											
FY16/3 1Q	143	6																											
FY16/3 2Q	152	8																											
FY16/3 3Q	155	10																											
FY16/3 4Q	172	12																											
FY17/3 1Q	138	11																											
FY17/3 2Q	141	10																											
FY17/3 3Q	148	11																											
その他事業 	物流事業、レジャー事業とも前年並みで推移。 ※四国コカ・コーラを前年度2Qに除外	 <table border="1"> <thead> <tr> <th>Quarter</th> <th>Sales (Sales High)</th> <th>Operating Profit</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>FY15/3 4Q</td><td>161</td><td>12</td></tr> <tr><td>FY16/3 1Q</td><td>135</td><td>0</td></tr> <tr><td>FY16/3 2Q</td><td>46</td><td>8</td></tr> <tr><td>FY16/3 3Q</td><td>49</td><td>7</td></tr> <tr><td>FY16/3 4Q</td><td>55</td><td>10</td></tr> <tr><td>FY17/3 1Q</td><td>42</td><td>5</td></tr> <tr><td>FY17/3 2Q</td><td>47</td><td>8</td></tr> <tr><td>FY17/3 3Q</td><td>50</td><td>6</td></tr> </tbody> </table>	Quarter	Sales (Sales High)	Operating Profit	FY15/3 4Q	161	12	FY16/3 1Q	135	0	FY16/3 2Q	46	8	FY16/3 3Q	49	7	FY16/3 4Q	55	10	FY17/3 1Q	42	5	FY17/3 2Q	47	8	FY17/3 3Q	50	6
Quarter	Sales (Sales High)	Operating Profit																											
FY15/3 4Q	161	12																											
FY16/3 1Q	135	0																											
FY16/3 2Q	46	8																											
FY16/3 3Q	49	7																											
FY16/3 4Q	55	10																											
FY17/3 1Q	42	5																											
FY17/3 2Q	47	8																											
FY17/3 3Q	50	6																											



販売数量減・価格下落を原燃料価格でカバーするも減益

(単位：億円)



3. 2017年3月期 業績見通し – 概要

(単位:億円)

	2017年3月期 見通し	2016年3月期 実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	9,900	10,071	▲171	▲1.7%
営業利益	280	226	54	23.8%
経常利益	280	171	109	63.5%
当期純利益*	10	24	▲14	▲58.7%

* 親会社株主に帰属する当期純利益

◆ 2017年3月期の業績見通しにつきましては、2016年11月2日発表
数値から変更ありません。



第2四半期決算発表以降の主なリリース

日付	タイトル	分野
11月29日	バイオマス度98%の環境にやさしいチルド用液体紙容器「NP-PAK Bio」を新発売	紙パック
12月6日	日本製紙クレシア株式会社と春日製紙工業株式会社が家庭紙合併事業で合意	家庭紙
12月15日	富士工場にC N F 強化樹脂の実証生産設備の設置を決定	CNF
1月24日	・ベトナムで紙器加工事業とヘルスケア事業を展開 ・インドで紙器加工事業へ本格参入	海外事業
1月30日	無機物とセルロース繊維を複合化した新しい機能性材料を開発	新規事業



CNFの生産設備稼働計画

2017年下期よりCNF研究所を富士工場敷地内に移転予定

- ・場所の拡張性を確保でき、関東や中部の大都市圏に近い好立地
- ・より実機に近いスケールの設備で課題を抽出しながら技術開発が可能

江津事業所（量産設備）

- ・CM化CNF
- ・30～100t/年
- ・2017年9月稼働予定

石巻工場（量産設備）

- ・TEMPO酸化CNF
- ・500t/年
- ・2017年4月稼働予定

岩国工場（実証設備）

- ・CNF実証機
- ・30t/年
- ・2013年より稼働中

富士工場（実証設備）

- ・CNF強化樹脂
- ・10t/年
- ・2017年6月稼働予定

<注意事項>

当資料に記載されている見通しに関する内容については、種々の前提に基づいたものであり、記載された将来の計画数値、施策の実現を確約したり、保証するものではありません。

日本製紙株式会社

